

東平尾公園 (大谷広場) ワークショップニュース

vol.01



第1回「計画案について現地で意見交換」



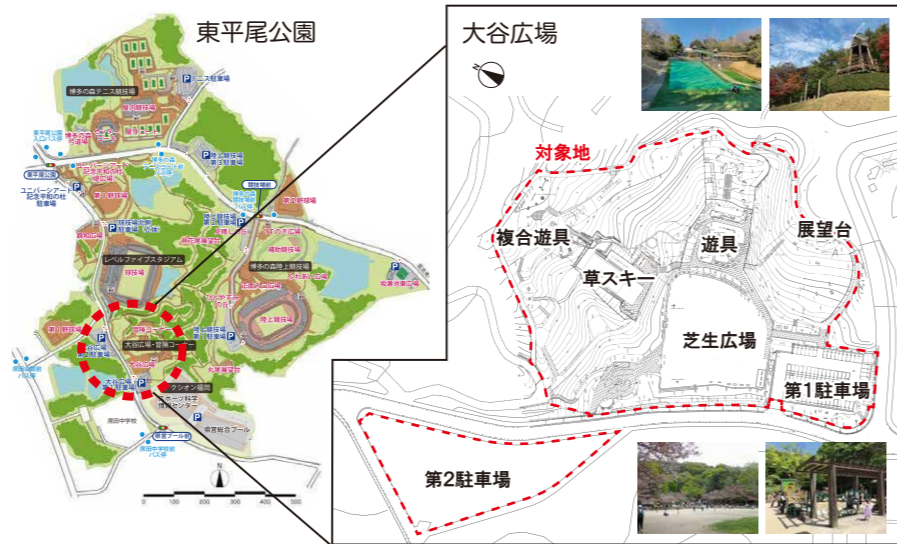
大谷広場を、障がいの有無や国籍・年齢などに関わらず、誰もが気軽に一緒に楽しめるインクルーシブな子ども広場としてリニューアルいたします。

リニューアルの計画案をもとに、令和5年12月16日(土)に第1回ワークショップを行いました。当日は肌寒い天候にも関わらず30名近くの参加者にお集まりいただき、「インクルーシブ」の考え方について参加者の皆さまに理解を深めていただいたほか、事業予定者によるリニューアル計画案の説明の後、現地に移動後は活発な意見交換が行われました。

プログラム

- 13:30 事業概要の説明
- 13:40 インクルーシブとは?
- 13:55 インクルーシブな子ども広場の説明
- 14:10 計画案の説明
- 14:25 現地でのワークの説明
- 14:50 現地へ移動
- 15:00 現地説明&意見交換
- 15:45 閉会挨拶・現地解散

対象地：東平尾公園「大谷広場」



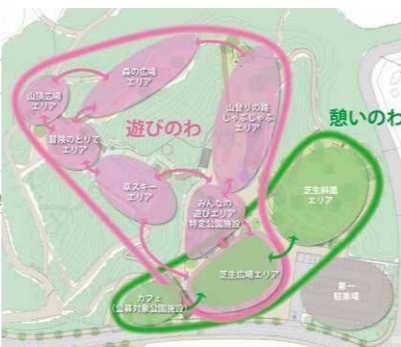
計画案の説明



【2つの計画方針】

どんな人でも誰とでもみんなが遊べる みんなで遊べる公園

自然で遊ぶ遊具で遊ぶとどンドン遊びの「わ」が広がる公園



大谷広場全体を「遊びのわ」と「憩いのわ」というふたつの「わ」で繋ぎます

インクルーシブとは?

インクルーシブ (inclusive)
||
「すべてを包み込む」
みんな一緒に・仲間外れにしない



「インクルーシブふくおか」様に、当事者の思いや目指すべきインクルーシブな地域の姿などについて話題提供をいただきました。インクルーシブな子ども広場がどのようなものか・目指す姿について学びました。



インクルーシブな子ども広場とは...

「誰もがお互いを理解し、安心して笑顔で自分らしく遊ぶことができる場所」であり、「子どもの特性に応じた選択肢があることが必要」です。
→「整備にあたっては様々な配慮が必要」です。

遊びの「種類」が選べる

- 身体的遊び
- 精神・情緒的遊び
- 社会的遊び

遊びの「ゾーン」が選べる

- ひとり遊びスペース
- 交流遊びスペース
- 自然遊びスペース

「周辺施設」の整備

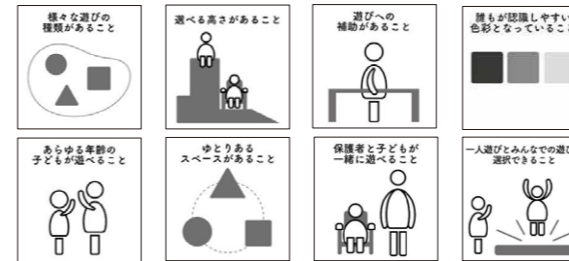
- 遊び場までのアクセス (駐車場・位置)
- 周辺施設 (トイレ・手洗い等) の必要性

「インクルーシブな子ども広場」の構成要素

様々な遊びの配置

身体的遊びについての共通配慮事項

身体的遊び：すべる、揺れる、回る、登る、跳ねる・飛ぶなどの様々な身体的動作を自由に組み合わせた遊び



精神・情緒的遊びについての共通配慮事項

精神・情緒的遊び：視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚といったすべての感覚が含まれる自由遊び



社会的遊びについての共通配慮事項

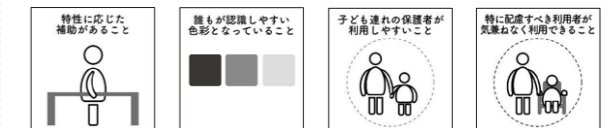
社会的遊び：利用者の交流によって生まれる集団遊び。特に配慮すべき利用者や一般の利用者の交流や、子と保護者の交流、保護者同士の交流なども含まれる。



周辺環境の整備

アクセスについての共通配慮事項

利用者が遊び場に物理的・心理的にアクセス可能とするための取り組み。特に配慮すべき利用者にとってのバリアフリーの観点や、子育てをする保護者への配慮など、あらゆる利用者が可能な限り日常生活の延長として遊び場に到達し、安心して過ごした帰路につくことができるような施設整備。



安全性についての共通配慮事項

利用者の安全を確保するために必要な事項。特に配慮すべき利用者は、子どもの遊びにおいて、保護者による補助・保護が前提となることも多いため、保護者の保護を支援するように遊び場の施設や配置を配慮する必要がある。また、年齢や特性、障がいの有無などの違いにより遊びのペースが異なる子どもたちが、それぞれ安全に遊べるよう配慮する必要もある。



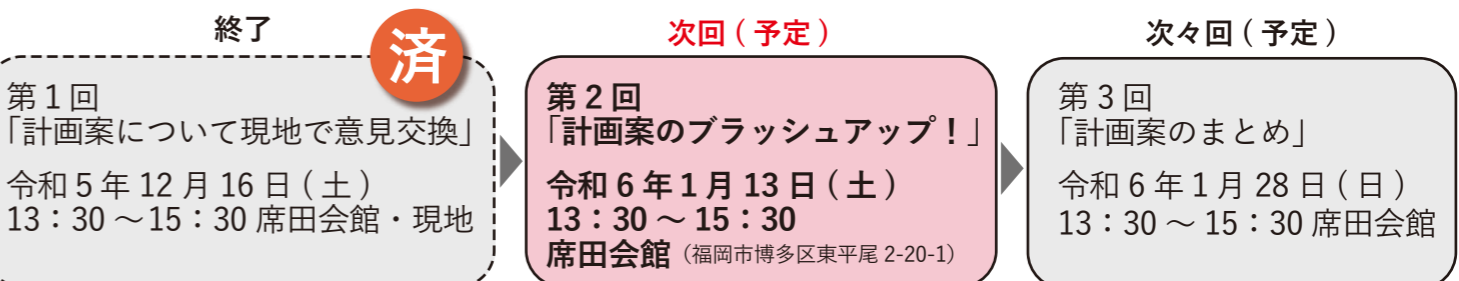
情報環境についての共通配慮事項

現地におけるデザインやサインによって、遊び場を訪れやすい環境づくりを行うほか、遊ぶ上でのルールや遊び方を分かりやすく伝えるための環境整備。また、「インクルーシブな子ども広場」の考え方について、あらゆる利用者に発信を続けるとともに、一般の利用者と特に配慮すべき利用者間の交流や同じ障がいに関わる利用者間の交流など、多様な関係性が生まれる環境作りも必要。



※ 特に配慮すべき利用者：精神障がい、発達障がい、知的障がい、肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、音声・言語機能障がい、内部障がい、日本語を母語としない人

今後のワークショップの流れ (全3回を予定しています。)



参加申込み

①氏名、②人数、③ご連絡先 (メールまたは電話)、④配慮が必要な事項 (介助、子どもの見守りなど)、⑤車でのお越しかどうか、⑥参加希望回 (各回 30 名程度を予定) を、右に記載の申込み・問合せ先までお知らせください。全3回のワークショップのうち、1回のみ参加も可能です。
締切：【第2回・第3回】1月10日(水)

申込み・問合せ先

MAIL: Park-PFI.HUPB@city.fukuoka.lg.jp
TEL: 092-707-2654 (土・日・祝を除く 9:00~18:00)
担当：福岡市住宅都市局公園部 Park-PFI 推進課 野田・山ノ平
※介助が必要な方や、お子様連れでも安心してご参加いただけるよう、見守りスタッフを配置します。必要な方はお早めにお申し込みください。

第2回・第3回
ワークショップの
参加申込受付中です!





ワーク：対象地の良いところ、気になるところ

班ごとに分かれて現地に行き、良いところ・気になるところを付箋に書き出してくださいました。今後、計画案のブラッシュアップを進めていきます。

1 班



良いところ

- 車いすの動線が良い
- カフェは良い
- 歩道から広場へのアクセスが良い

気になるところ・質問

- 駐車場の台数が少ない
- 立体駐車場はできないのか
- 駐車場への飛び出しが危険
- 小さいカフェを点在させてもいいのでは
- 電動車いすの貸し出しはどうか
- 砂場はどうなるのか
- 日陰を広くとりたい

2 班



良いところ

- インクルーシブエリアへのアクセスがよい
- 階段をなくしスロープになること
- 芝生広場に新しい芝が整備されること

気になるところ・質問

- 木陰が多くほしい
- 防犯カメラ等による安全確保
- トイレにフィッティングボードがほしい
- ボール遊びの近くを通るのが怖い
- 広場フェンスの高さを考えてほしい
- 第2駐車場と芝生広場の間に横断歩道がほしい
- 草スキーの幅を広げてほしい

3 班



良いところ

- カフェができること
- 草スキーが残ることが嬉しい
- 水辺の広場に車いすが入れるのが良い

気になるところ・質問

- 車いすの駐車スペースがもっとほしい
- 車いす利用者のために車両の後部にもスペースがほしい
- 広場の水たまりが気になる
- 四肢不自由の子と一緒に滑れるソリはないか
- 子どもが急に車道に飛び出さないか不安
- 遊具と遊具の間隔を広めにとってほしい

4 班



良いところ

- じゃぶじゃぶ池が広く整備されること
- 草スキーの維持・リニューアルすること

気になるところ・質問

- 草スキー手前の階段に手すりしてほしい
- 広場の下の池を活用し、駐車場にできないか
- 第2駐車場の拡大
- 展望台の改修
- 芝生広場を人工芝にできないか
- 歩道が樹木の根上がりによりデコボコしてる
- 中学校の送迎用の駐車場の確保も考えてほしい

5 班



良いところ

- 新しい遊具を設置するのは楽しみ
- じゃぶじゃぶ池に車いすで入れるのは良い

気になるところ・質問

- 駐車場を広くするべき
- 障がい者の駐車スペースを多くしてほしい
- 防犯カメラが無い
- 花火やBBQのルールは?
- 広場に日陰がもっとほしい
- 全体的に芝生やゴムチップで仕上げしてほしい

当日の様子

